



▲左：寺澤常務 右：一番弟子 山野寺 竜平

寺澤 寿洋 常務

(前編に続く)

今日も、メンバーを率いて現場に向かう寺澤寿洋。社長の高橋和義、専務の千葉真也らとともに、さくら株式会社を立ち上げた人物だ。さくらの成長に寄与し、これまでがむしろに走り続けてきた寺澤。今後の取り組みについて尋ねた。

若手養成のヒントは世代間のギャップ

現在課題の一つとして捉えているのが、若手の育成だ。自分が若手だった頃と同じように教えたところで、うまくいかないのが悩みの種だという。

「私が若い頃は『見て学べ』という時代でしたし、できなければ叱責されるのが当たり前という環境。私はもともと、そうした環境でも特に悩むことのない性格なのですが……」。

タフな精神で荒波を乗り越え、成長してきた寺澤。しかし、世代

や個性の違いを理解できていなければ、若手の心は掴めない。今意識しているのは、一つひとつ言葉にして丁寧に教えること。「見て学べ」というやり方とは違い、言葉にするには頭を使わなければならない。意外と難しい作業だが「これも勉強のうち」と考え、地道に取り組んでいる。

ほかに気を配っているのは、言葉遣いや、言葉に乗せる感情。これまで過酷な現場で育ってきた寺澤は、自分では特に意識せずに話している、相手によっては口調が厳しいと捉えられてしまうことがあるのだ。現場には、10代の若者や女性もいるため、なるべく穏やかに接しようと思っ掛けている。寺澤の「時代の変化に取り残されないように」という努力が、後輩そして会社の成長を後押ししている。

1人も残さず、仲間の輪の中に

業務上の指導に加え、大切だと感じているのはメンバー同士のコミュニケーションだ。同じ現場になったメンバーとは、食事に出掛けることも多い。また、誰も孤立することのないよう、1人でいるメンバーを見つければ、積極的に皆の輪に巻き込めるようにしている。

「皆が集まって会話をしているときは、たわいもない話題もありますが、話の流れで『これは聞いておいてほしいな』という大事な内容になることも。その空間を、できるだけ共有したいと思っています」。

さくらのメンバーは、個性的な人物ばかり。社長の高橋は兄貴肌、明るくも仕事に厳しい専務の千葉、冗談で場を和ませるのが得意な主任の鷲尾……。若手も皆、思ったことを遠慮なく口に出している。そうやって先輩後輩の垣根を越えて和気あいあいと過ごしているの

は、日頃のコミュニケーションの成果であろう。

若手の成長を願って

後輩に望むのは、第一に技術面での成長。技術を磨くためには、ほかの人の手掛けた仕事をよく見ることが大切だ。できる限り言葉で説明はしているが、やはり現場には目で見て初めてわかることも多い。「この人はうまいな」と思ったら、しっかりと観察して自らの糧にしてほしいと思っている。

寺澤が若い頃は「この仕上がりを見たら上司はなんと言うだろうか」と考えながら作業をしていた。自分を基準に判断するのではなく、ほかの誰かが見たときにどう思うか……。第三者目線で考えることが次のステップへのヒントに繋がっていく。

「配管工事は、形に残してこそその仕事。技術がなければ、工事は成り立たせませんから」。

後輩に、これまでより少し踏み込んだ仕事を依頼すると、試行錯誤

一つひとつを、大切に

誤している姿に成長を感じる。指導が役立つと思うと、純粋に嬉しい。これからのさくらを担う貴重な人材を育てるため、寺澤の挑戦は続く。

仕事をする上で根底にあるのは「会社が好きで、この会社を大きく成長させたい」という願い。そのためにも、目の前の仕事にひたすら真剣に取り組んでいく。今携



企業情報

設立年：2012年4月

年商：6億円

※2020年3月決算時点

わっているのは、冷凍食品を保管する大型の冷凍倉庫の案件だ。打ち合わせが順調に進んでいて、2022年1月には取り掛かれるだろう。

2012年に、高橋、千葉らと5、6人のメンバーで立ち上げたさくら。現在は、年々従業員も増えている。これからも、尊敬する先輩たちとともに歩んでいきたい。今後も仕事への情熱を胸に、輝き続ける寺澤の躍進は続いている。

13.14号の巻頭インタビューにご登場！

寺澤 常務ってこんな人！

13.14号の巻頭を飾った寺澤常務って一体どんな人？
今回は、寺澤常務と親交の深いお二人お話を伺いました！
業務外での素顔、そして昔の姿に迫ります。乞うご期待あれ！

TC
(とっしー)
へ



配管工事部 主任
わしお ゆうや
鷲尾 祐弥さん

寺澤常務との関係性

さくらの創業前からの仕事仲間で、かれこれ15年ほどの付き合いになります。年齢は私の方が3歳上ですが、職人歴はTC（普段の呼び名「とっしー」の略）の方が長く、大先輩です！

メッセージ

お忙しいと思いますが、体調にもお気をつけて頑張ってください。最近なかなかプライベートで会う機会を取れていませんが、また飲みに行きましょう！

寺澤常務を一言で表すと……

カリスマ的存在

周りをよく見ていて、面倒見がいい。皆がTCについていく姿に、人を惹きつけるものを感じます。

思い出エピソード

昔はびしばしと指導され、怖いと感じる瞬間もありました(笑)今は、「見て学ぶより、説明しながら勉強する方が時代に合っている」とのこと、だいぶ丸くなったと思います。

寺澤常務との関係性

私が入社した2019年から寿洋さんにはお世話になっています。入社当初から現在も、現場に連れて行ってもらったり、仕事を教えてもらったりして、とてもお世話になっています！

寺澤常務を一言で表すと……

いてくれるだけで安心できる、頼もしい上司

任された仕事のやり方が分からず悩んでいると、「そんなに難しく考えなくても良いよ」と声をかけてくださり、寿洋さんからいただくアドバイス通りに行くとスムーズに事が進みます。いつも、困っている様子を察知して声をかけてくださり、本当に感謝しています。

思い出のエピソード

仕事終わりに一緒に飲みに行くことがあります！前職時代の話や、仕事のお悩み相談などを話すと、毎回親身になって聞いてくださいます。2021年の秋ごろに飲みに行ったのが最後だと記憶していますが、コロナ禍が落ち着いたらまた一緒にしたいと思います。

メッセージ

今後は、寿洋さんを楽にできるようにもっと頑張りたいと思いますので、寿洋さんも体調に気をつけて頑張ってください！

寿洋さん
へ



いわい しょういち
岩井 翔一さん

さくらの工事現場に密着！

現場の力

現場に出ている社員は、どのような1日を送っているのでしょうか？
現場の業務内容も併せて理解できるように、ある1日のスケジュールを木戸さんに教えていただきました！



木戸さんの
1日に潜入

X線検査

きど まさひで
木戸 正秀さん

とある1日のスケジュール

7:30 現場に出勤

自宅から直行し、8:00からの朝礼に備えます。朝礼では、30分ほどで1日の作業の流れを共有します。

8:30 午前の業務

別の現場に移動し、作業開始前の下見と打ち合わせを行います。現場環境の安全確認や第三者の位置確認などが主な内容で、早ければ作業開始1か月前に下見があります。例えば当社が改修工事を請け負うことが多い病院やテナントビルの案件では、入院患者や入居者たちを当日どこに避難させるかなどの打ち合わせをします。

12:00 お昼休憩

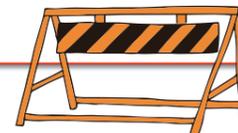
基本的に、作業を行うのは1日あたり1現場です。東北6県という広いフィールドで毎日違う現場に赴くため、行く先々で美味しいランチを探します。最近食べた中で美味しかったランチは陸奥のとんかつ屋さんです。

13:00 午後の業務

私のメイン業務は、コンクリートをX線で撮影して埋設物がないか確認し、コアドリルという機械を用いてダイヤモンドで壁に穴を開けることです。X線による撮影では、円筒形の10kgほどの重さの発生機と、約50cm四方の箱型の制御盤を組み合わせて使います。

17:00 現場にて退勤

自宅へ直帰します。現場が自宅近隣だった場合は基本的に18:00には帰宅することができますが、現場によっては作業時間指定があり、夜遅くなることもあります。



心がけていること

前段取りをとにかく慎重に進めることです。前段取りとは、必要なものを揃えておくこと、工程の確認、作業の大まかな流れの確認などのことです。「段取り八分、仕事二分」という日本語があるように、周到な用意を済ませれば仕事はほぼ終わったようなものでしょう。この業界で33年ほど経験を積んできた中で学んだ哲学です。

密かな楽しみ

先述のとおり、昼食にこだわることです。また、発注元の職種によって現場に集まる業者も変わるので、関わる人が毎日変わります。環境が日々異なるため、飽きません！

今後の意気込み

2021年に施工管理技師資格2級を取得しましたが、さらなるレベルアップのため、2022年は1級の取得を目指して勉強に励みたいと思います。



HAPPY BIRTHDAY!

3月

来月がお誕生日の皆さんです！素敵な1年になりますように……！

金子 顕二さん	3月1日	木戸 正秀さん	3月3日
山野寺 竜平さん	3月2日	藤原 知恵さん	3月13日
寺澤 寿洋さん	3月3日	長谷川 智哉さん	3月29日

